

すなやま・けんいち

株式会社ゆう建築設計代表取締役。建築設計と企画を一体的に行う「建築企画」のバイオニア。関西を中心に80を超える医療・介護施設の設計を手がけ、近年では医療法人等を対象とした高齢者住宅事業のセミナーを各地で展開している。1972年、SANT-LUC DE TOURNAI 建築学校(ベルギー)留学。75年、京都大学工学部建築系学科修士課程修了。81年、ゆう建築設計設立。著書に、「医療・介護・建築関係者のための高齢者の住まい事業企画の手引き」(学芸出版社)等
http://www.eusekkei.co.jp/
E-mail:sunayama@eusekkei.co.jp

室とリフト浴槽のある個浴という組み合わせにしています。また、浴室へのアプローチも庭に面した通路をつくり、豊かな気持ちでお風呂を利用してもらえるように計画しています。

将来シヨートの方で身体の不自由な方が増えれば、一般浴室にライナーリフトの設置も可能となります。

□ユニット内に浴室

今回は2ユニット2個浴の多様性を説明していますが、1ユニット

ト1個浴の方式も依然として多くあります。図4は、ユニット中央に浴室を配置し、家庭内でお風呂に入る雰囲気近づけたものです。

入浴プランで変化する介護方法、必要人員、入居者の暮らし

浴槽や機器の選択は実際に展示場やデモンストレーションで体験することによって決めますが、これまで示したように、トータルコストを常に念頭に置き検討しなけ

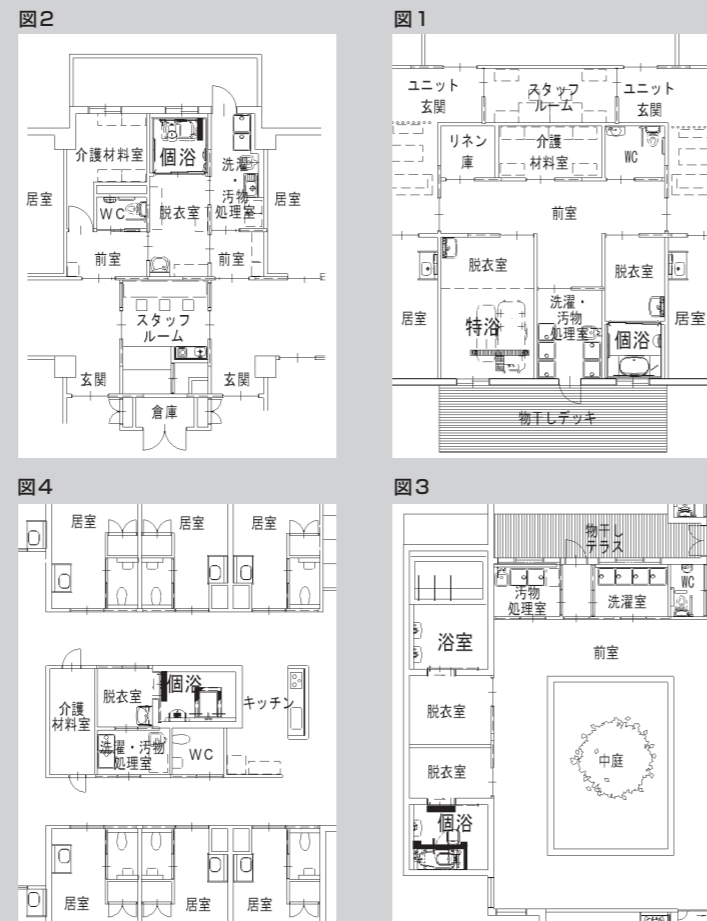
ればいけません。導入プランにより、介護の方法や介助に必要な人数が変わってくるのです。設計者と打ち合わせを行い、介護方針に合った入浴方法を定めることが大切です。

また、今回のコスト比較表は厳密なものに掲載していません。参考にしたメーカー以外でも同様の製品をつくっています。メーカーによって値引き率も違いますので、詳しくはゆう建築設計までお尋ねください。

表 浴室組み合わせコスト比較

	ユニット1浴室	ユニット2浴室	ユニット3浴室	ユニット4浴室	施設全体特浴	合計
基本形	浴室タイプ	UB	UB	UB	UB	在来+ロベリア
	価格	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	10,900千円
	対応介護度	自立・一部介助の方	自立・一部介助の方	自立・一部介助の方	自立・一部介助の方	全員
	職員配置数	1~2人	1~2人	1~2人	1~2人	2人以上
提案1	浴室タイプ	UB+ハンジー	UB	UB+ハンジー	UB	在来+ロベリア
	価格	2,700千円	1,500千円	2,700千円	1,500千円	10,900千円
	対応介護度	座位保持可能な方まで	自立・一部介助の方	座位保持可能な方まで	自立・一部介助の方	全員
	職員配置数	1~2人	1~2人	1~2人	1~2人	2人以上
提案2	浴室タイプ	在来+個特+	UB	在来+個特+	UB	在来+ロベリア
	価格	4,400千円	1,500千円	4,400千円	1,500千円	10,900千円
	対応介護度	座位保持可能な方まで	自立・一部介助の方	座位保持可能な方まで	自立・一部介助の方	全員
	職員配置数	1~2人	1~2人	1~2人	1~2人	2人以上
提案3	浴室タイプ	UB+ハンジー	在来+個特+	UB+ハンジー	在来+個特+	在来+ロベリア
	価格	2,700千円	4,400千円	2,700千円	4,400千円	10,900千円
	対応介護度	座位保持可能な方まで	座位保持可能な方まで	座位保持可能な方まで	座位保持可能な方まで	全員
	職員配置数	1~2人	1~2人	1~2人	1~2人	2人以上
提案4	浴室タイプ	UB+ハンジー	在来+ロベリア	UB+ハンジー	在来+ロベリア	なし
	価格	2,700千円	10,900千円	2,700千円	10,900千円	27,200千円
	対応介護度	座位保持可能な方まで	全員	座位保持可能な方まで	全員	
	職員配置数	2人以上	2人以上	1~2人	2人以上	

※金額は定価の約80% ouch建築設計作成



多様化する特養 建築から新たな可能性を探る

多様化するユニットケアの浴室 施設形成を左右する浴室設計(後編)

砂山憲一 株式会社ゆう建築設計代表取締役



先月号では、特養の浴室が多様化していることと、それぞれの入浴タイプのトータルコストについて説明しました。

今月号では、各種タイプの浴室の組み合わせと、展開する浴室プランについて説明します。

施設全体で浴室コストを算出

表の基本形が、これまで多くのユニット型特養で採用されてきた組み合わせです。各ユニットに介護用ユニットバスを設置し、施設に1つ特浴を設置するものです。この費用は1700万円ほどです。しかし、この組み合わせは比較的元気な入居者が多いとはいいたのですが、平均要介護度が高くなるにつれ、介護用ユニットバスに入浴時の介護職の負担が大幅に増えます。

2ユニット2個浴で異なる入浴方法が可能

2ユニットの個浴を並べて設置するプランを採用した場合、2つの個浴の入浴スタイルを変えることが可能となります。その結果、表中の提案1、提案2のように、2つの個浴のうち一方にリフト浴

槽やバンジューを最初から設置するケースが出てきます。この場合、基本形に比べてコストは14%から30%ほど高くなります。

さらに要介護度が高くなること、が予想される場合は、最初から2つの個浴にリフト浴槽やバンジューを設置する施設もあります(表中の提案3)。

仰臥位浴槽を各ユニットに

仰臥位浴槽が各施設に1台しか設置されないのは、その価格が高いためです。表の基本形を見ると、仰臥位浴槽の金額は浴室全体の64%にも相当します。この金額は前号で説明した片側寄りつきの低価格なタイプなので、従来の両側から入浴できるタイプだと、もつと大きな割合を占めることとなります。

リフト浴槽やバンジューを最初から設置すれば、当然のように浴室全体の金額は増えてきます。このタイプのプランを検討する場合は、仰臥位浴槽を2ユニットに1台設置することも金額的に検討の範囲に入ります。表中の提案4は2ユニットごとにバンジュー浴槽と仰臥位浴槽を設置した場合です

が、提案3と210万円しか差がありません。この提案4はユニット内に特浴を取り込むので、入居者のお風呂への移動距離が少なく、家庭でお風呂に入る雰囲気近づけることができます。また、介護する方にもメリットがある方式です(図1)。

コンセプトにより浴室プランは多様化

このように、特養の浴室はその施設の状態に合わせて設計することが大切です。私どもで計画している表以外の浴室プランをいくつか紹介します。

□2ユニットで1個浴

図2は、平均要介護度が高い特養の例です。浴槽を使う人数を想定して、2ユニットに1つの介護浴槽(バンジュー)を設置しています。特養3ユニットとシヨートステイ1ユニットで1カ所の特浴を設置しています。

□一般浴室の設置

図3は、シヨートステイと特養ユニットを連結したケースの浴室例です。このシヨートステイは比較的自立された方の利用を想定しているため、数人で入れる一般浴